



(個人蔵・つくば市教育委員会提供)



つくば市谷田部郷土資料館蔵



飯塚 伊賀七 いづかいがしち

宝暦12年(1762) - 天保7年(1836)

「からくり伊賀七」と呼ばれた発明家
つくば市

筑波郡谷田部新町村(つくば市谷田部)生まれ。代々名主を務める家柄で、伊賀七も寛政から天保にかけて名主を務める。数理に明るく、発明心に富み、職務のかたわら、建築や機械類の発明と研究に打ち込む。そして、五角堂や鐘楼などを設計し、酒買人形や大時計・飛行機なども作ったことから、「からくり伊賀七」と呼ばれる。特に、大時計は、「伊賀七の時計」と呼ばれ、飯塚家から鳴り響いてくる太鼓や鐘・笛の音で時刻を知ったという。「谷田部に過ぎたるもの三つあり、不動並木に広瀬周度(蘭学者)、飯塚伊賀七」と言われるほど、人々から慕われた。

主な内容

- ▼ 理事会を開催しました
- ▼ 魅力ある職場へ取り組みを報告
- ▼ 伊藤県土木部長着任あいさつ

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人)茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

働き方改革や担い手確保・育成を

本会の理事会を開催



石津会長



本会は3月26日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、平成31年度の事業計画案などを承認しました。4月からの働き方改革関連法の施行に対し、長時間労働の是正や人材の確保・育成に努め、魅力があり若者が夢を持って将来を託すことのできる産業となるよう取り組んでいきます。

冒頭、石津健光会長は「平成から新時代への幕開けとなる新年度は、建設業界にとってもあらゆる分野で新たなスタートとなる。今後も各支部からご意見をいただきながら協会運営を進めてまいります」とあいさつしました。

議事では、新規入会者、事業計画案、収支予算案を審議し、いずれも原案どおり決定。建設工事の品質と県民の安全・安心の確保につながる公共工事予算の安定的な確保・拡大や、改正品確法のさらなる徹底などの要望活動を積極的に展開していくことを確認しました。

さらに、雇用改善および人材確保・育成に関する事業として、引き続き高校生などを対象とした建設業合同企業説明会、工業高校の生徒などを対

象にした現場見学会や現場実習、インターンシップも実施します。

働き方改革に関する取り組みでは、長時間労働の是正、適切な賃金水準の確保、休日の確保（週休2日制の推進）などを推進。

週休2日制の導入については、完全週休2日の達成に向けて、毎月1回、土曜日を一斉休工日とする取り組みを実施することで、解決すべき課題を整理して関係機関に提言・要望を行っていきます。

また、女性のさらなる活躍に向けて、協会内に女性部（仮称）を立ち上げ、女性技術者・技能者などの入職促進と定着へ情報発信を強化し、環境整備に取り組みます。

完全週休2日達成へ努力

平成31年度事業計画案を決定

平成31年度事業計画案の重点項目

建設工事の品質と県民の安全・安心の確保を図る事業

①公共事業予算の安定的な確保・拡大

・社会資本の整備・維持管理を行い、地域の守り手としての役割を将来にわたって果たしていくためには、安定的な受注の確保が前提となる。社会資本整備の計画的推進と公共事業予算の持続的・安定的な確保・拡大、受注機会の確保、工事施工の平準化について公共発注機関に強く要望する。

②品確法と運用指針等のさらなる徹底

・予定価格や適切な工期の設定、工事発注や施工時期の平準化、多様な入札契約制度、総合評価方式の普及・拡大、ダンピング対策の徹底、不良不適格業者の排除、適切な設計変更などについて情報収集を行い、入札・契約制度の改善事項について関係発注機関へ要望・提言を行う。

③経営の改善、技術力の向上等に関する啓発指導事業

・建設業におけるICT技術を活用した最先端技術などに関する情報収集に努め、民間における研修施設などを活用し技術力の向上を図るとともに、県の「いばらきICTモデル工事支援協議会」などにおいて、提言・要望を行う。

④建設業における地域貢献活動事業

・災害時の応急対策業務、家畜伝染病に関する防疫業務への即応体制を整え、円滑な災害対応の実現に貢献する。さらに、道路の清掃活動、不法投棄防止パトロールなどを引き続き実施する。
・緊急時における事業継続計画（BCP）への対応についても、会員企業での取得を促進し、信頼される業界を目指す。

⑤積極的な広報活動の推進

・業界のイメージアップにつながる効果的な広報に

ついて調査・検討するとともに、将来の担い手確保・育成に資する広報活動を積極的に展開する。

建設業の健全な発展向上を図るための雇用改善および人材確保・育成に関する事業

①人材の確保・育成に関する取り組み

・工業高校生等を対象とした建設現場見学会、現場実習などを実施するほか、普通科の学生にも門戸を広げたインターンシップ等を引き続き実施する。

また、次世代を担う子どもたちとその保護者を対象に、建設業の魅力を理解してもらうための建設業親子見学会を開催するとともに、高校生・大学生などを対象とした建設業合同企業説明会を開催する。

・本年度も工業高校生を対象とした2級土木施工管理技士資格試験の準備講習会を開催する。

・4月から働き方改革関連法が施行されることから、完全週休2日制の達成に向け、毎月1回、土曜日を一齐休工日とする取り組みを行うことにより、解決すべき課題を整理関係機関に提言・要望を行う。

また、女性のさらなる活躍に向け、協会内に女性部（仮称）を立ち上げ、女性技術者・技能者などの入職促進と定着に向けて情報発信を強化する。

・「茨城県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会」を中心に、従業員のキャリアに応じた研修を実施し、スキルアップを図るとともに、合同企業説明会等を開催し人材の確保を図る。

②建設キャリアアップシステムへの対応

・4月から本格運用が開始されるため、本年1月から登録受付窓口を開設しており、引き続き制度の周知に努める。

見学・実習、合同企業説明会を継続

魅力職場、労働者確保事業推進委が事業報告と計画

本会の石津健光会長が委員長を務める「若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会」と「建設労働者確保育成事業推進委員会」が3月26日、水戸市の県建設技術研修センターで開催され、平成30年度の事業報告や31年度の実施計画を確認しました。

冒頭、石津委員長は「建設業のイメージアップを図り、魅力的な雇用環境を構築して、若者が夢

を持てる職場づくりを推進する」とあいさつ。

30年度の事業報告では、現場見学・実習、普通科高校インターンシップの実施状況、雇用管理改善促進事業の取り組みなどが説明されました。意見交換では、各高校が今春卒業生の就職状況を報告。2月に行われた建設企業合同説明会については、今後も継続してほしいという意見が多数寄せられました。



平成31年度の主な事業計画

- ◆建設雇用改善パトロールの実施
- ◆入職・離職率など各種調査事業
- ◆建設現場見学会・現場実習、インターンシップ、建設企業合同説明会の実施
- ◆新規入職者研修の実施
- ◆建設系高校生対象の資格取得講習会実施など

夏休み親子見学会など検証

担い手ネットワーク
協議会

県建設業産業担い手確保・育成ネットワーク協議会（事業管理者・本会）は3月13日、茨城県建設センターで会合を開き、平成29・30年度の2カ年で実施した事業内容を検証しました。

計画期間とする2カ年で、高校生や大学生などを対象にした企業説明会や夏休み親子見学会、県内高等学校で出前講座など77事業（29年度は33事業、30年度は44事業）を展開しました。

委員からは「3年以内の離職率の改善につなげるためにも、継続的に事業を実施していく必要があるのでは」という意見が出されました。

また、小学生の親子を対象にした茨城港常陸那珂港区探建ツアーについては「参加者から喜びの声があり、大きな成果を感じることができた」と



の声もありました。

この協議会は、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムの支援を受け、建設業界団体をはじめ教育機関や行政機関などと連携し、若年者の入職促進や育成の取り組みを推進するために設置されました。

木造倉庫の建設体験など

CCI茨城が事業報告

県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）が3月26日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれ、平成30年度の事業報告を行うとともに、31年度の事業計画案、収支予算案などを決定しました。

はじめに本会の石津健光会長が「建設業のイメージ向上と職場環境の改善を推進してまいりたい」とあいさつしました。

審議では、事業報告として銚田市立大洋中学校で校倉工法による木造倉庫建設体験学習を実施したことを事務局が説明。

このほか、県内各地で開催された建設体験学習や現場見学会、インターンシップへの協力、建設フェスタへの参加協力、CCIレポート作成なども実施しました。



平成31年度の主な事業計画

- ◆校倉工法による木造倉庫建設体験学習
- ◆建設現場見学会・建設現場実習・建設現場インターンシップの実施協力
- ◆「建設フェスタ2019」への参加協力
- ◆平成31年度CCIレポート作成・発送

10社27人が社会人の基礎学ぶ

富士教育訓練センターで就職前研修

新規入職者を対象とした「就職前準備研修」が、3月4～6日に静岡県富士宮市の全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センターで実施され、本会会員企業10社への就職内定者27人が参加しま



社会人としての基礎を学びました

した。

この研修は、主に社会人経験の無い人を対象に、建設業への就職内定者が社会人としての心構えやビジネスマナー、建設業の労働安全衛生や自己啓発などについて2泊3日で学ぶものです。東日本建設業保証(株)が企画・協賛しています。

全国から建設業関係への就職内定者が参加し、実践的な演習を通して建設業に対する理解を深めるとともに、スピーチの仕方や社会人としての基本動作などを学習し、新たに始まる社会人生活に備えました。

本会は、このような取り組みを通し、入職者のバックアップ体制をさらに充実させることで、会員の人材定着に貢献していきます。

委員会活動報告

週休2日制を推進

経営企画委員会



経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）は3月11日、本部3階会議室で会合を行い、平成31年度事業計画案などについて話し合いました。31年度は建設業のCSR（企業の社会的責任）の促進と法令順守の徹底のほか、建設業における週休2日制の推進、経営改善に資する諸施策を実施します。

人材確保・育成へ

人財開発委員会



人財開発委員会（高橋修一委員長）は3月13日、協会本部で会合を開き、平成30年度の事業報告や31年度の事業計画案などについて話し合いました。31年度は建設業における人材確保・育成に関する取り組みとして、若年入職者の確保・育成、働き方改革、外国人の受け入れなどを推進します。

委員会活動報告

講習会や安全施工

建築委員会



建築委員会（小薬拓巳委員長）は3月14日、本部で会議を開催。平成31年度の事業計画案などについて協議しました。31年度は安全施工確保への対応や、発注機関および関連団体との意見交換や建築CPDポイント付与の各種講習会および研修会を実施する方針です。

水戸支部
活動報告

土木事務所で 細目協定締結



水戸支部（尾曾正人副会長兼支部長）と県水戸土木事務所（肥高孝之所長）は3月27日、災害時における応急対策業務に関する細目協定を改定し、改めて締結しました。震度5弱以上としていた道路パトロールの開始震度を震度4以上に変更。パトロールの時間も3時間超から2時間以内とし、所要時間の短縮と道路交通の安全を図ります。

着任あいさつ

茨城県土木部長 **伊藤 高**



茨城県の土木行政につきまして、日ごろから格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この4月に土木部長に着任いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

茨城県では、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、「豊かさ」、「人財」、「夢・希望」、「安心安全」の4つの柱を掲げ、これらを実現するため、土木部は道路、河川をはじめとする様々なインフラ整備に取り組んでおります。

特に、豪雨や大地震などの大規模災害による被害が多発し、国土強靱化の必要性がますます高まる中、大規模災害からの復旧・復興を加速させるとともに、県民の生活を

支える重要インフラ等の耐震化や長寿命化など防災・減災対策などを進め、災害に強い県土づくりに取り組んでまいります。

人口減少・高齢化社会の進行により、今後、ますます次世代への技術承継や担い手の確保・育成が重要になる中、官民が連携し、若者や女性が希望を持って就業できるような環境づくりを進め、建設業が魅力ある産業に成長していくことが重要であります。

このため、県といたしましては、意欲ある建設業者の皆様への支援や建設業の健全な発展に資する各種の取り組みを進めてまいります。

協会の皆様におかれましては、県土発展のためにますますご活躍されますようご祈念申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

茨城県幹部職員 (建設関係部門)

平成31年4月1日現在

土木部

職名	氏名
部長	伊藤 高 ●
次長	箕輪浩徳 ●
技監(総括)	大野谷祐二 ●
都市局長	仙波義正 ●
監理課長	松山和規 ●
企画監	林 利家 ●
用地課長	畑中智明 ●
技監兼検査指導課長	皆川和彦 ●
道路建設課長	羽成英臣 ●
道路維持課長	大石直人 ●
河川課長	飯村信夫 ●
港湾課長	久家良和 ●
営繕課長	小坏達也 ●
都市計画課長	石川博章 ●
都市整備課長	蛭町修身 ●
市街地整備室長	野島泰久 ●
下水道課長	原部修一 ●
技監兼建築指導課長	足立信幸 ●
住宅課長	和田幸三 ●
水戸土木事務所長	鯉淵宏一 ●
技監兼常陸大宮土木事務所長	松橋秀広 ●

大子工務所長	清代英明 ●
技監兼潮来土木事務所長	木村正人 ●
土浦土木事務所長	猿田文彦 ●
土浦土木事務所つくば支所長	梅澤信行 ●
技監兼筑西土木事務所長	田中郷三 ●
常陸太田工事事務所長	高野 亨 ●
高萩工事事務所長	園部浩久 ●
鉾田工事事務所長	荒川真人 ●
竜ヶ崎工事事務所長	野上邦男 ●
常総工事事務所長	白戸元文 ●
境工事事務所長	平田 正 ●
茨城港湾事務所長	前野秀昭 ●
鹿島港湾事務所長兼保安調整監	宇留野茂雄 ●
鹿島下水道事務所長	長山正実 ●
流域下水道事務所長	今宮 泉 ●

農林水産部農地局

職名	氏名
農林水産部長	今野憲太郎 ●
農地局長	石井昌広 ●
農村計画課長	豊田雄一郎 ●
農地整備課長	高野 充 ●

県央農林事務所土地改良部門長	飯塚弘幸 ●
県北農林事務所土地改良部門長	檜山 敦 ●
鹿行農林事務所土地改良部門長	大塚正美 ●
県南農林事務所土地改良部門長	滑川健司 ●
県西農林事務所土地改良部門長	関口勝行 ●
高萩土地改良事務所長	山野井浩一 ●
稲敷土地改良事務所長	金 徹 ●
境土地改良事務所長	枝川 栄 ●

企業局

職名	氏名
公営企業管理者企業局長	澤田 勝 ●
企業局次長	二川 浩 ●
企画経営室長	浅野修一 ●
参事兼総務課長	蓼沼秋男 ●
業務課長	羽生 進 ●
技監兼施設課長	山中 博 ●
県南水道事務所長	塙 広実 ●
鹿行水道事務所長	柏谷 聡 ●
県西水道事務所長	尾崎浩志 ●
県中央水道事務所長	安 英徳 ●

●…新任 (敬称略)

事業計画などを承認

茨建組が理事会



県建設業協同組合（石津健光理事長）による理事会が3月27日に水戸市の県建設技術研修センターで開催され、第49期（平成31年度）の事業計画案などが承認されました。

新規入会

▽土浦支部

植村建設株式会社 植村和徳代表取締役

住所:つくば市篠崎1218

電話:029-864-1909

2019年度 定時総会のご案内

(一般社団法人)茨城県建設業協会

日時:2019年5月23日(木)
午前10時30分表彰式、
11時総会

場所:茨城県建設技術研修センター
(水戸市青柳町4195)

議題:18年度事業報告
19年度事業計画案・
予算案ほか

いばらき 「建設フォトコンテスト」



本会与建設未来協議会（小林圭一会長）は、写真を通じて地域インフラ整備の重要性や地域建設産業の役割をPRし、一般の方の理解向上を図るため、いばらき建設フォトコンテストを実施します。詳細は本会フォトコンテスト係にお問い合わせください。

会員の動向

〈代表者変更〉

▽高萩支部

茨城日鉦建設(株) 千葉 泰紀 → 松田 直樹

ちよつと一言



新元号が令和に決まりました。つい最近代わったように思える平成も残り僅か。時の流れの速さを実感するばかりです。

そう言えば、TVでチョコちゃんが、「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはトキメキがなくなったから」と言っていました。

生活の中にトキメキを感じる機会が多いか少ないかによって、過ぎた時間を長かったと感じるか、短かったと感じるか違ってくるのだそうです。

新しい時代を迎え、トキメキを感じられるかどうか分かりませんが、「ポーっと生きてんじゃねーよ!」と叱られないよう心がけたいものです。(I)